

室内楽コンサート

6月5日（土）開場 14:30 開演 15:00 入場料 ¥4,000

企画＆編曲：小林 仁

ショパンの4曲のオーケストラを伴う全作品、
ピアノと弦楽合奏の室内楽編曲版 **世界初演!**

出演：Pf. 小林 仁、魚谷絵奈、奈良希愛、根津理恵子、白石光隆

Vn. 瀬崎明日香、甲斐摩耶

Va. 西村真紀、坂口弦太郎

Vc. 上森祥平 Cb. 渡辺玲雄

■プログラム

バッハ : 6声のリチェルカーレ

ショパン : ドン＝ジョヴァンニの

「お手をどうぞ」による変奏曲 op.2

クラコヴィアク風ロンド op.14

～ 休憩 ～

ポーランド民謡による大幻想曲 op.13

アンダンテ・スピアナートと

華麗なる大ポロネーズ op.22

※曲目に変更がある場合がございます。

■プロフィール／こばやし ひとし

第25回日本音楽コンクール優勝・特賞受賞。ドイツ・バイエルン州の給費留学生としてミュンヘンに留学。1960年ワルシャワショパン国際ピアノコンクール入選。数多くのリサイタルやN響をはじめとして、日本のほとんどのメジャーのオーケストラと40曲以上のコンチェルト協演の経歴を持つ。1995年にはワルシャワのショパン国際ピアノコンクールをはじめ、ジュネーブの国際コンクールなど内外の多くのピアノコンクールの審査員として招待されている。ポーランド政府よりポーランド文化へ大きな貢献をはたしたとして、最高位の文化勲章である「グロティア・アルティス文化功労ゴールド勲章」を叙勲。

東京藝術大学名誉教授、日本ショパン協会会長。



■プロフィール／なら きあい

R. シューマン国際音楽コンクールピアノ部門日本人初の第1位のほか、ブゾニ、浜松、イトウルピなど国内外のコンクールで優勝、上位入賞。東京藝大卒業後、ドイツ学術交流会（DAAD）奨学生および文化庁芸術家在外研修員としてベルリン芸大、同大学院で学び、満場一致の最高点にて首席修了。またローム財団奨学生及び全額給費生として、マンハッタン音楽院大学院修了、在学中は室内楽科助手。またローマ、マドリードでも研鑽を積む。現在日本とドイツに居を構え、世界各地で演奏活動及び研究活動（R. シューマンについて）を行う。

国立音楽大学専任講師（2010年度より）及び相愛大学、昭和音楽大学各非常勤講師及び同大学ピアノアートアカデミー講師。



■プロフィール／ねづ りえこ

東京藝術大学卒業後、ポーランド政府給費留学生としてビドゴシチ音楽アカデミー研究科修了。現在、ポーランドを拠点にヨーロッパ各地で演奏活動を展開。

1996年、スウェーデン・キル国際ピアノコンクールにて優勝。

2004年、第6回パデレフスキ国際ピアノコンクール第4位、及びパデレフスキ作品最優秀演奏賞。

2005年、第15回ショパン国際ピアノコンクールにおいてファイナリスト名誉表彰を受ける。

2007年、伝統ある「第24回ヴァルデモサ・ショパンフェスティバル（マヨルカ島）」に日本人ピアニストとして初めて招待されリサイタル開催。2009年には、国際連合欧州本部（ジュネーヴ）にて行われた「ショパン生誕200周年プレイヤー記念祭」にアーティスト代表として選ばれ、ソロ・リサイタル開催。またバリやヨーロッパ各地の「ショパン・フェスティバル」に出演。「繊細な美音」「聴衆を圧倒的な熱狂へと導く才能」と称賛され、着実にヨーロッパでの演奏活動を拡げている。フランス・アヴィニヨン管弦楽団、ワルシャワ国立フィル、ポーランド各地方管弦楽団、藝大フィルハーモニアなどのオーケストラと共演。

2002年から2010年5月にかけて、カワイ音楽振興会主催によるリサイタル全10回シリーズ「ショパンをめぐる作曲家たち」を行い、各回高評を博した。

これまでに、金子勝子、杉谷昭子、播本枝未子、迫昭嘉、ダン・タイ・ソン、故ハリーナ・チェルニー＝ステファンスカ、エヴァ・ボブウォツカの各氏に師事。マルタ・アルゲリッチ、レギナ・スメンジャンカ、ドミニク・メルレ各氏の指導も受ける。

公式 HP:<http://www.path.ne.jp/rieko-pf/>



■プロフィール／うおたに えな

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校卒業。同大学入学後、ザルツブルク・モーツァルトウム音楽院に留学。東京藝術大学卒業。

これまでに東京およびバイエルンにてソロリサイタル、NHK・BSハイビジョン「ぴあのピア」にてショパン、ラフマニノフを演奏する他、芸大フィルハーモニア、IBM管弦楽団と共演するなど様々な演奏会に出演。2010年小松長生指揮・東京都交響楽団とサントリーホールにてショパンピアノ協奏曲第1番を演奏。第13回ブラームス国際コンクール第3位。これまでに熊谷恵美子、小林仁、伊藤恵、三木裕子、ハンス・ライグラフの各氏に師事。



■プロフィール／しらいし みつたか

1989年に東京藝術大学大学院を修了後、ジュリアード音楽院へ進む。1990年ジーナバッカウアー国際奨学金コンクール入賞。1991年学内におけるコンチェルト・コンペティションで優勝し、ジュリアード・オーケストラと協演。1994年第63回日本音楽コンクール声楽部門・木下賞（共演）受賞。レパートリーも広く、邦人、現代作品の分野でも評価が高く、ジャズへのアプローチも積極的に行なっている。ピアノを金澤桂子、高良芳枝、故伊達純、小林仁、マーティン・キャンンの各氏に、室内楽をフェリックス・ガリミア、伴奏法をジョナサン・フェルドマンの各氏に師事。現在、東京藝術大学ピアノ科非常勤講師。

